



# 家族で健康づくり 病気の知識を身につけよう ②

京都新聞では「家族で健康づくり～病気の知識を身につけよう～」と題し、家族や地域など身近な人の声掛けやサポートから病気の早期発見につなげるための情報を発信します。第2回「泌尿器・消化器の疾患」では、泌尿器疾患におけるダヴィンチ手術の現状や、受診を控え悪化を見逃してしまうことの多い排尿障害や鼠径部ヘルニアについて専門の医師に聞きました。

ホームページはこちら  
バックナンバーをご覧ください



## 泌尿器・消化器の疾患

# 京都新聞

7月28日  
木曜日



### 新河端病院

**Q** どのような疾患か。  
**A** ヘルニアとは臓器などが狭い隙間からはみ出した状態のことです。鼠径部ヘルニアは脚の付け根あたりが膨らんでくる病気です。男性に多く、高齢化に伴い発生が増え、男性では3人に1人がかかるといわれています。患者の9割が成人で1割が先天性疾患の小児です。成人の原因としては、加齢で鼠径部周囲の組織が弱くなることで起こりやすくなります。スポーツ選手の方や力仕事などで腹圧がかかること

**Q** 起こる場合もあります。どちらもヘルニアの脱出部位にメッシュを当てて補強します。鼠径部切開手術は局所麻酔の口帰り手術でも可能であり、腹腔鏡手術は全身麻酔で1泊か2泊の入院が必要となります。腹腔鏡手術は小さな傷で術後の痛みも少ないと思われ

**Q** 治療は。  
**A** 嵌頓の状態でなければ、患者さんの意向を確認し、経過観察か治療かを決めます。ヘルニアバンドという器具で腹部を外から抑える方法もありますが、根治的治療としては手術しかなく、鼠径部切開手術か腹腔鏡手術のいずれかの方法で行

痛みを伴う場合は、危険な状態かもしれないので緊急に医療施設を受診してください。

意です。このような状態は「嵌頓」といわれ、ヘルニア内容が締め付けられ血流が悪くなり、ひどくなると腸管壊死から腹膜炎となり緊急手術になります。膨らみが戻らず

膨らみが元に戻らず痛みを伴うようになると要注意です。術後は2週間ほど様子を見て合併症や再発がなければ、今まで通りの生活ができスポーツも可能です。手術で簡単に治る病気のため、気になる方は気軽に医療機関を受診してください。

## 手術で根治、気軽に受診を



院長  
安藤 達也 氏

## 鼠径部ヘルニア

痛みを伴う場合は、危険な状態かもしれないので緊急に医療施設を受診してください。